

- (イ) 1 単位時間の学習の展開にあたってたしかめ的手段や方法を明らかにし、フィードバック活動が確実に行われるようにする。

目標行動設定の一般条件

- (1) 学習の成果として獲得されるべき望ましい行動を書く。
……・内容的要素「何を」
- (2) 行為で示すことばで文末を書く。
学習者の行動が観察可能な場面 ……・行動的要素
を設定し、表現する。 「どのような行動で」
- (3) 学習者の示す行動の程度を示す。

- ④ 基礎的・基本的事項をおさえた 1 単位時間の授業過程
ア. 学習指導案の形式・内容

1. 単元名 (題材名)
2. 教材名
3. 目標
4. 指導計画
5. 指導構想
(1) 教材について
○ (教材観)
○ (生徒観)
○ (指導観)
(2) 教材の構造
ア. ねらう能力……………
イ. 中心概念 (中心観念) ……
ウ. 基本要素, 具体要素……………
エ. 基礎となる事項……………
オ. 他教材との関連…………… ()
カ. ・関連 } ……
・発展 } ……
・流れ } ……
6. 本時の目標
○ (学習目標)
○ 下位目標
7. 指導過程

段階	学習活動・内容	時	留意点・評価
	1. (活動を主として) (1) (内容を主として)		(評価)

イ. 指導の重点をおさえるための着眼点

- (ア) 授業の目標が確実に達成できるよう、目標行動にそったチェックポイントを明らかにし形成的評価を適切に行う。
- (イ) 本時学習の基礎となる生徒のレディネスを正確にとらえる。
- (ウ) 教材の特質に応じた指導内容や学習活動をおさえる。

・指導の順序 ・指導の重みづけ ・時間配分

⑤ ひとりひとりを生かす学習の展開

- ア. 個性や能力に応じて、積極的に学習に取り組ませる学習のしかたを身につけさせる。
 - ・既習の経験を生かせる課題の構成や場の

設定

- ・指導過程の中で思考を深め、自ら探究していく過程の重視
- ・ひとりひとりの考えを大切に授業に生かす工夫
- イ. 機器を活用し、学習の個別化をはかる。
 - ・学習内容的確な提示と個々の生徒の活発な反応や行動を促すKR情報を重視する。
- ウ. 主体的学習を促す小集団学習の場を設定する。
 - ・思考を深めるための話し合いの効果的な指導過程への位置づけを工夫する。
 - ・教材の特質に応じて思考活動を高める集団思考と個人思考とのかかわり合い。
- エ. 目標行動にそったたしかめの機能を生かし、フィードバック活動を適切に行う。

6. 研究の反省と今後の課題

複雑な日々の教育活動のなか、十分に研究の意をつくせず、研究不足な点も多々あった。なかでも、移行期における新学習指導要領を志向しての研究の難しさを痛感した次第である。ただ、この研究を通して九教科足なみをそろえ、同人全員が新学習指導要領の趣旨の理解につとめ、新教育課程完全実施へむけて自信めいたものが得られたことは大きな成果として受けとめたい。今後、基礎的・基本的事項をより一層確実に身につけさせ、次の学習への発展の基礎を養い、創造的能力の素地を培うため次の点を課題として、たゆまぬ研究の歩みが続けたい。

- (1) 各教科の全体構造と本校生徒の実態に立脚した指導事項の選択と配列を工夫した指導計画の樹立と授業の設計
- (2) 教材の精選と教材分析を一層強化し、指導のねらいに最適な生徒のなじみ深い素材の教材化と教材の提示、学習展開の工夫
- (3) レディネスを明らかにし、目標行動にそったたしかめを一層確実にする指導と評価の一体化